

研修No. 17

2022年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2023年 03 月 23 日
研究・研修課題名	植込み型心臓デバイス認定士の取得
研究・研修組織名(所属)	植込み型心臓デバイス認定士の取得 (MEセンター)
研究・研修責任者名(所属)	石飛 茜 (改姓) (MEセンター)
研究・研修実施者名(所属)	古谷 昭人 (MEセンター)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果 ()
該当者名(所属)	石飛 茜、古谷 昭人 (MEセンター)
学会名(会期・場所)、認定名等	植込み型心臓デバイス認定士
演題名・認証交付元等	一般社団法人日本不整脈心電学会
取得日・認定期間等	
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有 () <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容**①目的**

「植込み型心臓デバイス認定士」の取得を通して、植込み型心臓デバイスに特化し、患者教育も含めた管理を学ぶ。

また、植込み型心臓電気デバイスの高性能化は発展も早く、日常の臨床においてプロフェッショナルとしてのサポートは不可欠であり、患者や医療スタッフに対する植込み型心臓デバイスの説明や指導を行う必要があるため。

②方法

認定試験を受験し合格する。

認定試験 日時：11月20日(日) 場所：東京ビッグサイト

③成果

患者管理・指導および遠隔モニタリングの役割など診療では知ることのできなかったことを学ぶことが出来た。その結果、ペースメーカー植込み後の患者指導について病棟看護師から質問を受ける機会が増え、ペースメーカー外来では患者からの質問に対し、メーカーへ確認する事が減ったため、外来時間の短縮につながっている。

今後、デバイスを携わるうえで基礎的な知識を学んだ。さらに知識向上を行い、デバイスが患者毎に合うような設定を組めたり、イベントがあればそこに対処出来るような形をとっていきたい。